

公認会計士に 期待する

景気回復の原動力へ

…期待します



行政書士

山内 常男

10土業「暮らしと事業のよろず相談会」を通じ、公認会計士の業務の理解を深めることができました。商法や証券取引法に基づく法定監査を主要業務とされ、経営継続を目指す企業にとって頼りがいのある専門職と敬服いたしております。

さて、私たち行政書士は許認可申請のなかで企業の財務内容によって公認会計士からの「経営報告書」又は「調査報告書」の提出を求められることが多々あります。また、人流の国際化が進み、外国人の在留資格「投資経営」があり、外国人或は外国会社による日本における営業所設置の依頼があります。その点、海外の証券取引所に株式上場している企業の日本進出や日本企業の海外進出は、殆ど監査法人が対応されています。これは、公認会計士の経営戦略

や長期計画及び資金調達等におけるマネージメント・コンサルティングやサービス等の指導レベルが非常に高いという事に対する企業の信頼の大きさがあるからではないでしょうか。

今、政府は融資を受ける企業が在庫や原材料・機械設備等を担保として活用できるようにする「動産・債権譲渡に係る登記公示制度」について検討されております。これは動産を手元に残したまま、金融機関などの貸し手に所有権を譲渡し登記し公示することですが、公正な評価を期す必要性から公認会計士が関与されることが、中小企業の安定発展のサポートの専門家として求められているように感じます。

ところで、依頼者からみた公認会計士の強みは、会計のみならず経営や税務もわかるといういわゆるワンストップサービスにあるのではないかと思います。

しかし、経済社会の高度複雑化により、これに加え今後は専門職同士の業務提携によるワンダアサービスが加速していくのではないかと考えられますが、公認会計士の皆様を中心にあって質の高いサービスを提供されますよう期待いたします。

一 筆者の紹介

山内 常男 氏

宮城県出身 65歳

東京都行政書士会理事 広報部部長(広報「行政書士とうきょう」「ブエンテ」編集長)、東京商工会議所豊島支部情報サービス分科会 評議員、行政書士会豊島支部相談役、行政書士 山内事務所代表

現在、国際行政書士協会専務理事として行政書士業務研修会で人材育成にあたる。<http://www.igla.jp/>

最新の商法計算書類の様式、記載方法を詳細に解説した実務家必携書!!

商法決算書類の作成と開示実務

日本公認会計士協会東京会 編 A5判・定価4,410円

平成14年以降の商法施行規則の施行及びその改正により、商法計算書類の様式等は大幅に改正されました。本書は、商法計算書類の作成と開示実務に関して事例を交えながらわかりやすく解説しました。

企業の資金繰りと資産運用における経理実務全般について徹底的にわかりやすく解説!!

実務家が書いた

資金繰表・資金運用表の作り方とその応用

羽原 伊久雄・高島 允也 共著・A5判・定価1,890円

減損会計の概要が即座に理解できるよう、網羅的にわかりやすく解説!!

よくわかる

固定資産の減損会計

平松 朗・荒木和郎 共著・A5判・定価2,730円

(定価は5%消費税込み)



税務研究会 出版局

〒101-0065 東京都千代田区西神田1-1-3

☎03(3294)4741 Fax 03(3233)0197 ▶<http://www.zeiken.co.jp>

